

**特定非営利活動法人日本文化体験交流塾 第16回通常総会  
第16期（2022年10月1日～2023年9月30日）事業報告書**

## 第1 事業実施の方針

全国通訳案内士等の研修事業、江戸以来の伝統的な生活の知恵・生活思想の研修事業を行うとともに、出版物の発行及び電子媒体による情報発信事業を行う。

## 第2 財産及び収支の概要

2023年9月30日現在、正味財産は前年度より、1,159,528円の減少となり、純資産の合計は、10,316,593円となった。

本期を振り返り、①活躍の場 ②地位向上、③通訳案内士試験の受験者の減少 ④研修の実施、の4点の課題について述べる。

第1に、会員の活動の場の拡大である。

2022年10月より、外国人の入国規制が緩和された。

JNTOの訪日外客統計によれば、2023年上半期には、対2019年比で、マイナス30%～40%程度までに、回復した。

これに伴い、2023年3月期以降、当交流塾の連携会社であるTrue Japan Tour 株式会社に依頼される体験及びガイド派遣が急増した。

True Japan Tour 株式会社の旅行事業の売上高は、159百万円と回復した。

その結果、寿司、茶道共に体験人数が3000人を超え、クルーズ船、高校生修学旅行における「英語の話せる添乗員」、「フランス語スルーガイド」、「FIT」などの派遣事業が多く実施された。

しかしながら、発注側の旅行会社である内外の各社において、ツアーオペレータ等スタッフの不足により、発注指示は、混乱を極めた。

当交流塾より、会場提供や事務局スタッフの派遣に加え、ガイドや体験講師のアサイン業務の一部委託を受けている True Japan Tour 株式会社においても、人材派遣社員から人材を受け入れるなどの臨時的な対応等により、ギリギリの対応を行った。

	訪日外客数 Visitor Arrivals		
	2019	2023	伸率 Change %
1	2,689,339	1,497,472	-44.3
Jan.	(2,345,029)	(1,308,606)	(-44.2)
2	2,604,322	1,475,455	-43.3
Feb.	(2,341,479)	(1,297,458)	(-44.6)
3	2,760,136	1,817,616	-34.1
Mar.	(2,411,650)	(1,582,518)	(-34.4)
4	2,926,685	1,949,236	-33.4
Apr.	(2,640,569)	(1,738,172)	(-34.2)
5	2,773,091	1,899,176	-31.5
May	(2,455,865)	(1,656,118)	(-32.6)
6	2,880,041	2,073,441	-28.0
Jun.	(2,614,533)	(1,882,296)	(-28.0)
7	2,991,189	2,320,694	-22.4
Jul.	(2,713,329)	(2,108,438)	(-22.3)
8	2,520,134	2,157,190	-14.4
Aug.	(2,206,746)	(1,897,129)	(-14.0)
9	2,272,883	2,184,300 *	-3.9 *
Sep.	(1,913,105)		
10	2,496,568	2,516,500 *	0.8 *
Oct.	(2,177,382)		

当交流塾として、仕事量の増大は、歓迎するとしても、OTA やエージェントからの直前のキャンセルやガイド料の変更、誤った支払い金額の発生等のマイナス面が数多く発生している。とはいえ、2020 年 1 月から 2022 年 10 月までの 2 年半の長期にわたり、ほとんど仕事のなかったことを考えると、長く暗い夜が終わり、ようやく夜明けを迎えた思いである。

第 2 に、会員の地位向上に向けた取り組みである。

訪日外国人の増加に伴い通訳案内士等の人材に対する需要が拡大している。にもかかわらず、通訳案内士の供給が不足している。

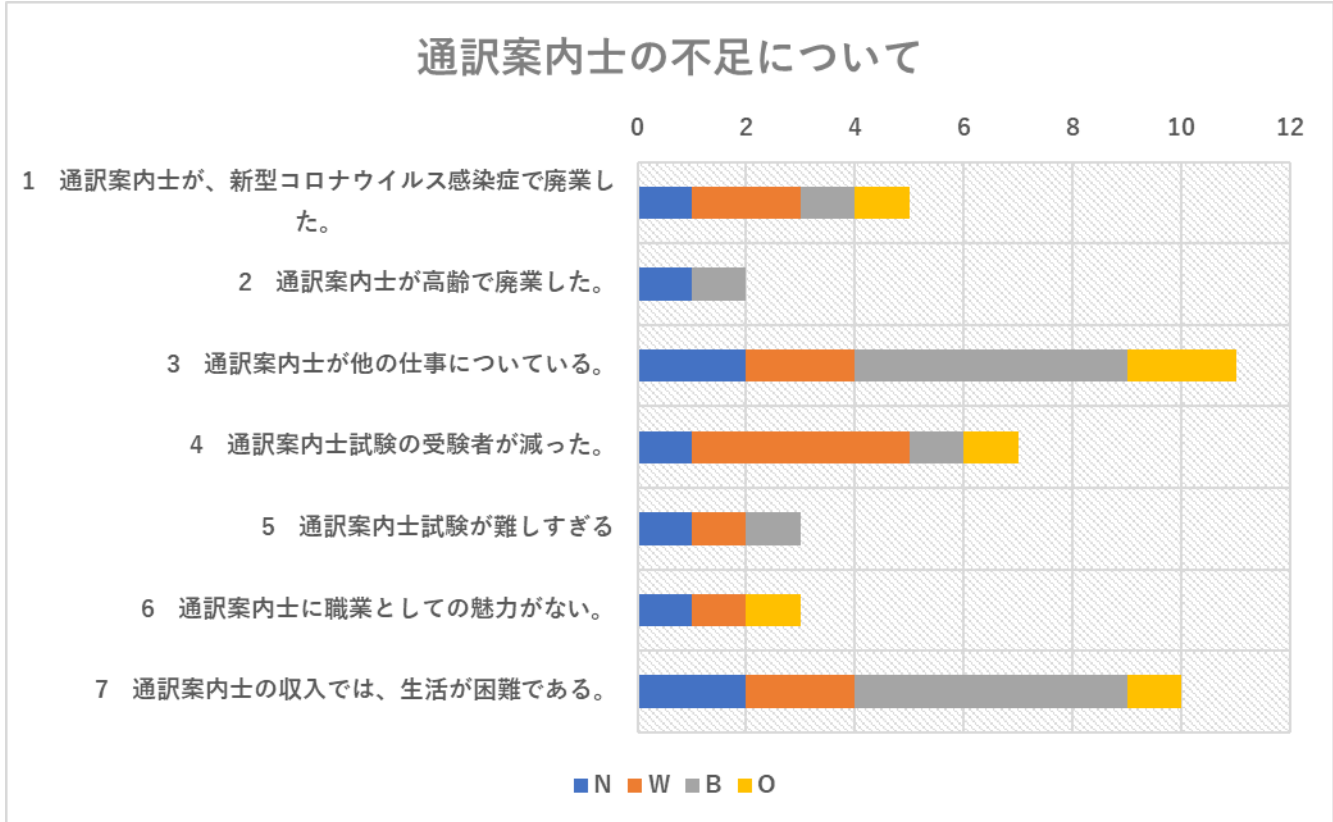
日本旅行業協会(JATA)の事務局長の話としては、「バス、宿泊施設、通訳案内士」の不足がインバウンドの成長の阻害要因となっている。

日本文化体験交流塾理事長は、本年 5 月に、日本通訳案内士団体連合会(通団連)会長に就任し、当交流塾のみならず、日本全体の通訳案内士制度にも関わることとなった。

当交流塾が中心となって実施した日本通訳案内士団体連合会のアンケート調査では、「通訳案内士の不足について」、以下の回答があった。

第 1 位は、通訳案内士が他の仕事についているであった。第 2 位は、通訳案内士の収入では、生活が困難である。

この 2 つの回答を合わせると、コロナ期間中に他の仕事についていたが、まだ、通訳案内士の収入が低すぎて、戻れない人が多くいると考えられる。

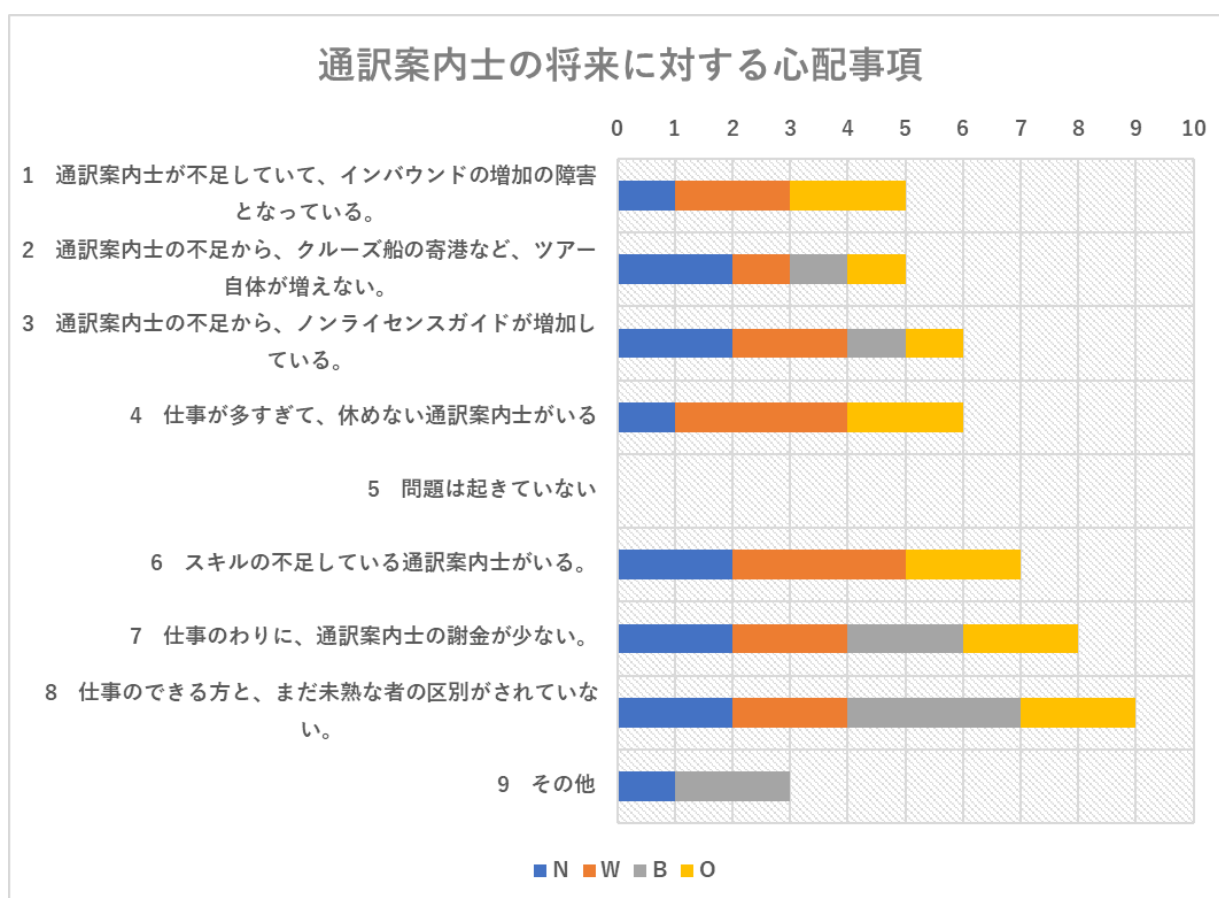


実態は、2023年の春の訪日客の受入に当たっては、旅行会社の多くは、従前からの料金を前提として、ガイド手配を行おうとした。しかし、現役に復帰する通訳案内士が不足して、大幅なガイド不足が生じた。経済理論的には、この需給ギャップを改善するには、ガイド料金を引き上げるほかはない。

2023年秋、2024年春以降、通訳案内士のガイド料金を引き上げていく潮流の到来が予想される。当交流塾及び通団連として、通訳案内士の処遇改善に努めていく必要がある。次に、「通訳案内士の将来に対する心配事項」についても、アンケートを実施した。

最多の回答は、「仕事のできる方と、まだ未熟な者の区別がされていない。」ということであった。

以下、私なりに説明したい。「スキルの不足している通訳案内士がいる」一方「仕事が多すぎて、休めない通訳案内士がいる」、つまりレベル感の異なるガイドであっても、通訳案内士という一つの尺度しかない。したがって、ツアーに対して、貢献度の高い通訳案内士であっても、謝金が上がりにくいといえる。



第3に、通訳案内士試験の受験者の減少への対応である。

以下の表のように、試験の受験者が激減している。2023年には、訪日客が増加して、インバウンド産業の再活性化が生じているにも関わらず、通訳案内士試験の受験者が増える傾向にない。

西暦	年号	受験者数	受験者数/ 2026年	合格者数	合格者数/ 2026年	合格率
2016年	平成28年	11,307	100%	2,404	100.0%	21.3%
2017年	平成29年	10,564	93.4%	1,649	68.6%	15.6%
2018年	平成30年	7,651	67.7%	753	31.3%	9.8%
2019年	令和1年	7,224	63.9%	618	25.7%	8.5%
2020年	令和2年	5,078	44.9%	489	20.3%	9.6%
2021年	令和3年	3,834	33.9%	347	14.4%	9.1%
2022年	令和4年	3,472	30.7%	571	23.8%	16.4%

特に、歴史や地理において、通訳案内士の仕事にほとんど関係のないテーマについての難問・奇問により、若い人の通訳案内士試験離れの一因となっていると考えられる。

現在、通訳案内士業界は、高齢化が進んでおり、若い世代に関心を持ってもらうための取組も欠かせないと思う。

こうしたなかで、9月13日、通団連は、通訳案内士試験の運用に関し、以下の要望を行った。

#### 参考

#### 観光庁長官殿

#### 全国通訳案内士試験の適正な実施についての要望

日本通訳案内士団体連合会

会長 米原亮三

本年8月20日に実施された全国通訳案内士試験については、通訳案内士試験のガイドラインに基づく適切な対応をされるよう、下記のとおり要望します。

#### 記

#### ◎要望事項

全国通訳案内士試験ガイドラインに基づく検討会の開催を要望します

#### ◎根拠となるガイドライン

・実際の平均点が、合格基準点から著しく乖離した科目については、当該科目の試験委員と試験実施事務局から構成される検討会を開催する。その結果、必要があると判断された場合には、合格基準の事後的な調整を行う。この調整は、平均点の乖離度及び得点分布を考慮して行う。」

#### ◎理由

本年も、8月20日(日)に実施された全国通訳案内士試験では、日本地理及び一般常識の試験で、難問・奇問が続出しました。私達、通訳案内士試験指導教室の受験生に対するヒアリングでは、受験者の平均点は、極めて低いと推定されます。

2017年以前は、「検討会」による「合格基準の事後的な調整」は、毎年のように実施されてきまし

たが、2018年以降は、ほとんど実施されていないと推定されます。  
新型コロナウイルス感染症によるインバウンドの低迷期を経て、現在、通訳案内士試験は受験生離れ、実施主体の赤字などの課題があります。  
また、インバウンド再開後、旅行業界の通訳案内士に対するニーズは高く、供給不足の状況にあります。  
このようななかで、「合格基準の事後的な調整」なしで、合格判定を行うことは、合格者の減少、試験に対する信頼感の喪失を招き、さらに問題を深刻化させる恐れがあります。  
つきましては、ガイドラインに基づいて、当該科目の試験委員と試験実施事務局から構成される検討会を開催していただくよう、切にお願いいたします。

しかしながら、「検討会」による「合格基準の事後的な調整」は実施されなかった。

通団連のこうした動きに対応して、観光庁においても、通訳案内士制度の見直しに着手し、「ガイド人材の活性化に係る検討会」を設置した。その直接的な理由は、通訳案内士試験の受験者の激減により、実施コストに対して、受験料が見合わなくなった。受験料金の値上げを見据えたものである。当交流塾からは、理事長が委員として出席しており、今後とも、当交流塾の会員の気持ちを代弁するとともに、通団連会長としても活動していく。

第4に、仕事の増加に対応できる人材の育成のための研修の実施である。

急増するニーズに対応して、即戦力を必要とされた事業は、以下の5つであった。

- ① 寿司体験
- ② クルーズ船対応
- ③ 相撲の稽古場見学
- ④ 築地場外市場の見学
- ⑤ 都内・関西地域の観光ガイド

これらについては、緊急に研修を実施して対応した。

総じて、2021年度に比較して、座学研修より、実務研修のウエイトが増大した。

皇居日本橋や東京国立博物館の研修などが人気となったが、ガイドの閑散期となる7月、8月、9月は、記録的な猛暑のなかで、まち歩き研修は、困難であった。そのなかで9月に実施した関西5days研修が好評であった。

しかしながら、講師となるベテラン会員が仕事に追われて、以前実施してきた実地研修が実施できないという問題が残された。青山、六本木、新宿、都立公園などの都内研修。鎌倉、川越、大宮盆栽などの首都圏の研修である。

2023年度の課題として、認識している。

### 第3 収入および支出

#### 【総括表】

単位：円

	第16期	第15期	第14期	第16期の第15 期に比較した増 減額
	2022年10月～ 2023年9月	2021年10月～ 2022年9月	2020年10月～ 2021年9月	
総収入	<b>51,674,145</b>	34,422,550	35,090,749	17,250,095
総費用（法人税等除く）	<b>53,373,679</b>	34,185,369	35,647,544	19,188,310
正味財産増減額	<b>△1,159,528</b>	237,181	△556,799	

#### 【収入内訳】

	項目	第16期実績	第15期実績	第14期実績
年会費収入	入会金	1,778,000円	458,200円	360,000円
	年会費	13,370,000円	9,942,300円	9,774,000円
	年会費・入会金計	15,148,000円	10,400,500円	10,134,000円
	同上対前年度比較	145.6%	102.6%	85.4%
研修事業収入	(1) 通訳案内士新人研修	5,511,255円	2,634,231円	2,760,462円
	(2) 通訳案内士法定研修※1	2,564,006円	2,359,538円	311,225円
	(3) 日本文化教室	9,376,783円	4,924,787円	3,105,036円
	(4) バス研修	4,838,096円	534,728円	1,371,329円
	(5) 旅程管理研修※2	1,102,546円	506,960円	－円
	(6) ガイド研修	12,281,292円	10,494,744円	14,908,658円
	研修事業計	35,673,978円	21,454,988円	22,456,710円
	同上対前年度比較	166.3%	95.5%	131.2%
出版事業収入	出版事業計	852,167円	755,641円	2,319,737円
	同上対前年度比較	112.8%	32.6%	41.0%
<b>総収入</b>		<b>51,674,145円</b>	<b>34,422,550円</b>	<b>35,090,749円</b>
<b>同上対前年度比較</b>		<b>150.1%</b>	<b>85.5%</b>	<b>98.1%</b>

※1 通訳案内研修は、通訳案内士法による登録研修機関研修である。2018年1月3日以前に通訳案内士登録された方は、2023年1月3日までに本研修を受講する義務があり、その後も5年に一度受講の必要がある。受講しない場合、登録の取り消しの可能性がある。

#### ※2 旅程管理研修

True Japan Tour 株式会社が実施する旅程管理研修の実施を当交流塾が受託し、会員を対象に実施した。

**【費用内訳】**

	項目	第 16 期実績	第 15 期実績	第 14 期実績
<b>1.事業費</b>	(1)人件費	13,573,177 円	8,416,763 円	5,768,055 円
	(2)運営経費その他	32,023,157 円	19,265,255 円	20,947,659 円
	1.事業費計	45,596,334 円	26,715,714 円	27,682,018 円
<b>2.管理費</b>	(1)人件費	2,629,824 円	2,990,007 円	3,710,473 円
	(2)設備費その他	5,147,521 円	3,513,344 円	5,221,357 円
	2.管理費計	7,777,345 円	8,931,830 円	6,503,351 円
	<b>費用計</b>	<b>53,373,679 円</b>	<b>35,647,544 円</b>	<b>34,185,369 円</b>
	同上対前年度比較	<b>149.7%</b>	<b>104.3%</b>	<b>95.9%</b>

## 第4 活動実績の概要

### 1 会員総数

期数	第16期	第15期	第14期	第13期
年	2022年10月 ～2023年9月	2021年10月 ～2022年9月	2020年10月 ～2021年9月	2019年10月 ～2020年9月
個人会員数	1,181人	1,082人	1,286人	1,516人
入会金	1,778,000円	458,200円	360,000円	470,000円
年会費	13,370,000円	9,942,300円	9,774,000円	11,395,800円
入会金・年会費計	15,148,000円	10,400,500円	10,134,000円	11,865,800円
同上対前年度比較	145.6%	102.6%	85.4%	81.3%

### 【入会者数と退会者数経緯】

	前年度末 会員数	入会者 数(A)	退会者 数	年度末 会員数	退会率	全国通訳案 内士試験合 格数(B)	(A) / (B)
2018年	1,662人	315人	253人	1,724人	15.22%	1,649人	19.10%
2019年	1,801人	176人	275人	1,702人	15.27%	753人	23.37%
2020年	1,702人	94人	280人	1,516人	16.45%	618人	15.21%
2021年	1,516人	64人	294人	1,286人	19.39%	489人	13.08%
2022年	1,286人	65人	269人	1,082人	20.00%	347人	18.73%
2023年	<b>1,082人</b>	<b>254人</b>	<b>155人</b>	<b>1181人</b>	<b>14.32%</b>	<b>571人</b>	<b>44.48%</b>

### 説明

第16期の年会費収入は、第15期と比較して145.7%となり、大きく増加に転じた。

その理由は、以下のとおりである。

- ① 当交流塾の入会者数は、大きく増加した。2020年～22年の入会者数は、通訳案内士試験の合格者の13%～18%となっているが、2023年の比率は44.48%と大きく増加に転じている
- ② 全国通訳案内士試験の合格者数は、約165%に増加した。約10年間の平均では、入会者は通訳案内士試験の合格者の20%程度である。この数字を適用する114名程度となる。それ以上の入会者の増加は、次の点が考えられる。
- ③ 仕事の増加である。クルーズ船や高校生修学旅行等のガイド対応のなかで、入会者が増加した。
- ④ 当交流塾、豊富で質の高い研修の魅力である。
- ⑤ 過去数年間、合格しても活動をしていなかった者や、元当交流塾の再入会もいた。
- ⑥ 一方、本年度からは年会費11,500円から13,000円に、入会金は5,000円から7,000円に値上げさせていただいた。この結果、2022年度は、年会費+会費収入が増加となり、当交流塾の活動の支えとなっている。



## 2 会員の研修事業

### 全体の概要

期	第 16 期	第 15 期	第 14 期
開始年	2022 年	2021 年	2020 年
金額	35,673,978 円	21,454,988 円	22,456,710 円
対前年度比較	166.3%	95.5%	131.2%

### (1) 全国通訳案内士 新人研修(2023 年 1 月から 7 月まで)

講座・研修		実績額(円)
関東 A 日程	事前研修(宗教編・観光編)、I 講義①②、成田送迎バス、II 都内バス、III 日光バス、IV 箱根バス、V 講義③、プレゼン演習 (2 班で実施)	5,511,255 円 (前年比 209.2%)
関西 B 日程	事前研修(宗教編・観光編)、I 講義①②、関空送迎・大阪城、II 奈良バス、III 京都バス①、IV 京都バス②、V 講義③④、プレゼン演習	

### (2) 通訳案内研修 (登録研修機関研修)

2022 年 10 月から 2023 年 9 月まで

講座・研修	実績額(円)
通訳案内研修 (会場での実施)	2,564,006 円 (前年比 108.7%)
通訳案内研修 (オンライン受講)	

通訳案内士法に基づく研修である。改正通訳案内士法施行(2018 年 1 月 4 日)よりも以前に、通訳案内士の登録をしている者は、2023 年 1 月 3 日まで初回の受講が必要となっていた。

※観光庁の資料によると、令和 6 年 4 月 1 日までに、初回の受講が必要となる通訳案内士は、25,239 名である。上記対象者の内、令和 5 年 11 月時点での未受講者は、14,035 名と言われる。

すなわち、11,204 が受講した。

### (3) 日本文化教室

2022 年 10 月から 2023 年 9 月まで

講座・研修	実績額(円)
寿司づくり、折り紙、風呂敷体験講師養成講座	9,376,783 円 (前年比 158.6%)

#### (4) バス研修

2022年10月から2023年9月まで

⑥バス研修	木曽路ガイドバス研修	4,838,096円
	富士河口湖バス研修	
	中部バス研修	
	高野山バス研修	
	都内バス研修	

※木曽路ガイドバス研修は、観光庁の補助事業として実施した。

#### (5) 旅程管理研修

True Japan Tour 株式会社が実施する旅程管理研修の実施を受託し、会員を対象に実施した。

講座・研修	実績額(円)
旅程管理研修（オンラインでの実施）	1,102,546円 (前年比 217.5%)

#### (6) ガイド研修（バス研修以外） 2022年10月から2023年9月まで

講座・研修		実績額(円)
①語学系講座	通訳技術養成講座	12,281,292円
	医療通訳養成講座	
②シリーズ研修	「英語で伝える 日本の仏教～宗祖とその教義の特徴」～全6回	
	Ash先生の英語で学ぶ日本文化～全10回	
	禅語を学ぶ～全5回	
	世界に誇る 日本美術工芸の系譜～全10回	
③クルーズ対応研修	大阪、高知、沖縄、新潟での研修	
④関東まち歩き研修	築地場外市場まち歩き研修	
	相撲稽古場見学研修	
	銀座ウォーキング研修	
	皇居東御苑と日本橋ウォーキング研修	
	谷根千ウォーキング研修	
	国立博物館（東博）ガイド研修	

	横浜ウォーキング研修 A&B	
	鎌倉ウォーキング研修	
	神楽坂ウォーキング研修	
⑤関西まち歩き研修	9月関西5days(大阪・京都・奈良) Dayコース、Nightコース 計. 14本	

### 3 出版事業

種別・書籍名		実績額(円)
自主出版	通訳ガイドのための観光ガイドブック「京都編」	852,167 円 (前年比 112.8%)
	通訳案内士のための基本知識 ガイド実務編	
	国際人のための日本文化の基礎知識	
	ジャパニーズカルチャーシリーズ	
著作権	全国通訳案内士試験「英語1次(筆記)」合格!対策	
	全国通訳案内士試験「英語2次(口述)」合格!対策	
	全国通訳案内士試験「実務」合格!対策	
	全国通訳案内士試験「歴史」合格!対策	
	全国通訳案内士試験「地理」合格!対策	

## 第5 支出について

### 1 事業費について

種別	項目	実績額(円)
(1)人件費	講師謝礼	13,573,177 円 (前年比 161.3%)
	事業助手	
(2)運営経費	業務委託費及び事務委託	32,023,157 円 (前年比 166.2%)
	支払手数料 (事業)	
	その他経費	

- ・研修事業の実施に合わせて、講師謝礼が増加した。
- ・業務委託費

機械振興会館の諸施設は、True Japan Tour 株式会社が借り上げている。日本文化体験交流塾は、こうした施設の利用や、IJCEE への出向社員やスペース利用、光熱水費、通信費等の経費として、業務委託を実施している。

### 2 管理費について

種別	項目	実績額(円)
(1)人件費	給与など	2,629,824 円 (前年比 88.0%)
(2)設備費 その他	システム利用料・通信費計	5,147,521 円 (前年比 146.5%)
	その他経費	